

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月9日

【四半期会計期間】 第128期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 オーベクス株式会社

【英訳名】 AuBEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗原則義

【本店の所在の場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第127期 第2四半期 連結累計期間		第128期 第2四半期 連結累計期間		第127期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		1,977,591		1,770,163		3,795,833
経常利益	(千円)		201,739		68,411		315,241
四半期(当期)純利益	(千円)		179,621		50,735		401,344
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		168,483		28,990		430,564
純資産額	(千円)		2,335,263		2,582,704		2,599,914
総資産額	(千円)		5,156,705		5,300,293		5,238,429
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		13.38		3.76		29.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		45.0		47.9		48.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		195,355		146,172		227,084
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		93,946		9,897		189,520
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		108,026		77,673		150,562
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		894,899		851,782		796,174

回次		第127期 第2四半期 連結会計期間		第128期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		4.60		4.24

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外ではヨーロッパ債務危機の影響による海外経済の減速や円高の長期化などの不安定要因を抱え、また国内では東日本大震災の復興需要等により、一部に回復基調がみられたものの雇用環境の悪化や個人消費の低迷は継続しており、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,770百万円(前年同四半期比10.5%減)、営業利益は、98百万円(前年同四半期比56.9%減)、経常利益は、68百万円(前年同四半期比66.1%減)、四半期純利益は、50百万円(前年同四半期比71.8%減)となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

(テクノ製品事業)

輸出割合の高いテクノ製品事業は、海外経済の減速による生産および在庫調整の影響を受けて輸出売上が減少し、売上高は、1,312百万円(前年同四半期比16.8%減)、営業利益は、227百万円(前年同四半期比41.1%減)となりました。

(メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、医療費抑制策の影響や公定償還価格の引き下げにより、市場環境および経営環境は厳しい状況が継続しておりますが、積極的な営業活動を推進し売上拡大に努めた結果、売上高は、456百万円(前年同四半期比14.5%増)、営業損失は、1百万円(前年同四半期 営業損失27百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、5,300百万円となりました。これは主に、商品及び製品90百万円の増加、受取手形及び売掛金25百万円の増加、その他流動資産27百万円の減少、機械装置及び運搬具(純額)27百万円の減少などによるものです。

負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、2,717百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金88百万円の増加、短期借入金33百万円の増加、長期借入金42百万円の減少などによるものです。

純資産

当第2四半期会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ17百万円減少し、2,582百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定13百万円の減少などによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、851百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、146百万円の資金の増加(前年同四半期 195百万円の資金の増加)となりました。これは主に、たな卸資産の増加97百万円はありましたが、減価償却費91百万円、仕入債務の増加89百万円、税金等調整前四半期純利益67百万円などがあったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、9百万円の資金の減少(前年同四半期 93百万円の資金の減少)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入48百万円はありましたが、有形固定資産の取得による支出44百万円、定期預金の預入による支出12百万円などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、77百万円の資金の減少(前年同四半期 108百万円の資金の減少)となりました。これは主に、短期借入金の増加33百万円はありましたが、配当金の支払額44百万円、長期借入金の返済による支出42百万円、社債の償還による支出15百万円などがあったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は32百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,463,116	15,463,116	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株で あります。
計	15,463,116	15,463,116		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		15,463,116		1,939,834		484,958

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
昭和化学工業(株)	東京都目黒区下目黒 2 - 23 - 18	2,357	15.24
若築建設(株)	東京都目黒区下目黒 2 - 23 - 18	2,116	13.68
資産管理サービス信託銀行(株) (信託E口)	東京都中央区晴海 1 - 8 - 12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟	1,310	8.47
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	東京都千代田区内幸町 1 - 1 - 5 (東京都中央区晴海 1 - 8 - 12 晴海アイラン ドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	677	4.37
オーベクス取引先持株会	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	576	3.72
石橋産業(株)	東京都目黒区碑文谷 5 - 25 - 10	403	2.61
朝日商事(株)	千葉県白井市河原子354番地 1	379	2.45
オーベクス(株)	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	354	2.29
三井住友信託銀行(株) (常任代理人 日本トラスティ・ サービス信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内 1 - 4 - 1 (東京都中央区晴海 1 - 8 - 11)	333	2.15
松井証券(株)	東京都千代田区麹町 1 - 4	260	1.68
計		8,766	56.69

- (注) 1 朝日商事(株)(平成24年9月30日現在当社が84.60%の株式を所有)が所有している上記株式については、会社法施行規則第67条第1項の規定により議決権の行使が制限されております。
- 2 資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)は、株式給付信託(J-ESOP)における当社株式の再信託先です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 354,000		
	(相互保有株式) 普通株式 379,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,534,000	14,534	
単元未満株式	普通株式 196,116		
発行済株式総数	15,463,116		
総株主の議決権		14,534	

(注) 1 完全議決権株式(その他)欄の普通株式のうち、1,310,000株につきましては、資産管理サービス信託銀行(株) (信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拋出しております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が656株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーベクス株式会社	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	354,000		354,000	2.29
(相互保有株式) 朝日商事株式会社	千葉県白井市河原子 354番地1	379,000		379,000	2.45
計		733,000		733,000	4.74

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人グラヴィタスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	836,177	855,782
受取手形及び売掛金	966,793	991,917
商品及び製品	54,140	144,308
仕掛品	752,006	754,337
原材料及び貯蔵品	181,038	183,519
繰延税金資産	119,644	121,733
その他	145,121	117,899
貸倒引当金	100	104
流動資産合計	3,054,822	3,169,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,921,684	1,912,615
減価償却累計額	1,239,235	1,256,124
建物及び構築物(純額)	682,448	656,491
機械装置及び運搬具	2,100,561	2,103,636
減価償却累計額	1,704,219	1,734,489
機械装置及び運搬具(純額)	396,341	369,146
土地	722,523	722,523
リース資産	117,913	114,281
減価償却累計額	92,745	97,187
リース資産(純額)	25,167	17,094
建設仮勘定	4,625	13,086
その他	315,170	323,586
減価償却累計額	241,959	250,759
その他(純額)	73,211	72,827
有形固定資産合計	1,904,318	1,851,169
無形固定資産		
特許権	12,959	11,761
その他	8,934	8,469
無形固定資産合計	21,894	20,231
投資その他の資産		
投資有価証券	150,464	141,367
長期貸付金	100	-
出資金	210	210
その他	134,054	151,548
貸倒引当金	35,650	35,650
投資その他の資産合計	249,178	257,475
固定資産合計	2,175,391	2,128,876
繰延資産		
開業費	6,403	864
社債発行費	1,810	1,160
繰延資産合計	8,214	2,025
資産合計	5,238,429	5,300,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	293,822	381,940
短期借入金	30,000	63,500
1年内返済予定の長期借入金	1,285,240	1,289,010
1年内償還予定の社債	30,000	130,000
リース債務	14,099	10,440
未払法人税等	11,201	21,829
賞与引当金	45,194	55,213
その他	145,215	156,673
流動負債合計	1,854,772	2,108,607
固定負債		
社債	115,000	-
長期借入金	308,110	261,720
リース債務	11,723	7,181
繰延税金負債	3,192	2,337
再評価に係る繰延税金負債	36,799	36,799
退職給付引当金	281,920	279,313
負ののれん	26,020	17,346
その他	975	4,283
固定負債合計	783,741	608,982
負債合計	2,638,514	2,717,589
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	495,097	495,097
利益剰余金	467,180	472,565
自己株式	223,645	224,496
株主資本合計	2,678,466	2,683,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	9,952
土地再評価差額金	82,312	82,312
為替換算調整勘定	36,732	50,672
その他の包括利益累計額合計	119,156	142,937
少数株主持分	40,604	42,640
純資産合計	2,599,914	2,582,704
負債純資産合計	5,238,429	5,300,293

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,977,591	1,770,163
売上原価	1,290,964	1,215,382
売上総利益	686,626	554,781
販売費及び一般管理費	457,485	455,963
営業利益	229,141	98,817
営業外収益		
受取利息	600	312
受取配当金	655	1,906
貸倒引当金戻入額	10,917	-
負ののれん償却額	8,673	8,673
その他	1,775	3,165
営業外収益合計	22,622	14,058
営業外費用		
支払利息	22,206	20,548
為替差損	19,599	14,598
その他	8,217	9,317
営業外費用合計	50,024	44,464
経常利益	201,739	68,411
特別利益		
投資有価証券売却益	612	-
特別利益合計	612	-
特別損失		
固定資産除却損	4,798	1,294
特別損失合計	4,798	1,294
税金等調整前四半期純利益	197,553	67,116
法人税、住民税及び事業税	17,812	17,288
法人税等調整額	990	2,942
法人税等合計	16,821	14,345
少数株主損益調整前四半期純利益	180,732	52,771
少数株主利益	1,110	2,035
四半期純利益	179,621	50,735

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	180,732	52,771
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	639	9,840
為替換算調整勘定	12,887	13,940
その他の包括利益合計	12,248	23,781
四半期包括利益	168,483	28,990
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	167,373	26,954
少数株主に係る四半期包括利益	1,110	2,035

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	197,553	67,116
減価償却費	102,239	91,911
のれん償却額	5,670	-
負ののれん償却額	8,673	8,673
退職給付引当金の増減額(は減少)	11,879	2,607
賞与引当金の増減額(は減少)	2,921	10,019
貸倒引当金の増減額(は減少)	11,698	4
繰延資産償却額	5,807	5,895
受取利息及び受取配当金	1,256	2,219
支払利息	22,206	20,548
為替差損益(は益)	7,736	7,169
有形固定資産除却損	4,798	1,294
投資有価証券売却損益(は益)	612	-
売上債権の増減額(は増加)	86,793	26,172
たな卸資産の増減額(は増加)	176,165	97,865
仕入債務の増減額(は減少)	1,143	89,063
未払消費税等の増減額(は減少)	21,314	39,844
その他の流動資産の増減額(は増加)	2,384	21,784
その他の流動負債の増減額(は減少)	1,659	6,031
その他の固定資産の増減額(は増加)	8,021	25,489
その他の固定負債の増減額(は減少)	261	5,108
小計	275,896	159,195
利息及び配当金の受取額	1,209	2,276
利息の支払額	22,018	20,716
法人税等の支払額	59,732	6,314
法人税等の還付額	-	11,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,355	146,172
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	19,503	12,010
定期預金の払戻による収入	12,625	48,013
貸付けによる支出	-	4,900
貸付金の回収による収入	610	1,100
有形固定資産の取得による支出	87,998	44,494
無形固定資産の取得による支出	2,083	1,125
投資有価証券の取得による支出	659	743
投資有価証券の売却による収入	6,864	-
敷金の差入による支出	400	-
投資その他の資産の増減額(は増加)	3,400	4,262
投資活動によるキャッシュ・フロー	93,946	9,897

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	33,500
長期借入金の返済による支出	102,620	42,620
社債の償還による支出	30,000	15,000
設備関係割賦債務の返済による支出	230	-
リース債務の返済による支出	12,873	8,119
配当金の支払額	-	44,584
自己株式の売却による収入	37,787	-
自己株式の取得による支出	89	850
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,026	77,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,096	2,993
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	11,713	55,607
現金及び現金同等物の期首残高	906,612	796,174
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,899	851,782

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。
なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	31,858千円	30,167千円
支払手形	56,374 "	68,184 "

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
発送費	35,872千円	30,127千円
給与手当及び賞与	188,680 "	183,038 "
賞与引当金繰入額	18,823 "	12,404 "
退職給付費用	22,840 "	22,715 "
福利厚生費	19,365 "	19,197 "
貸倒引当金繰入額	"	4 "
研究開発費	33,703 "	32,948 "
賃借料	20,705 "	20,700 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
現金及び預金	922,902千円	855,782千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	28,003 "	4,000 "
現金及び現金同等物	894,899千円	851,782千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 6 月26日 定時株主総会	普通株式	45,350	3.00	平成24年 3 月31日	平成24年 6 月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,577,144	398,826	1,975,970	1,621	1,977,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,580	14,580
計	1,577,144	398,826	1,975,970	16,201	1,992,171
セグメント利益又は損失()	386,692	27,394	359,298	8,291	367,589

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	359,298
「その他」の区分の利益	8,291
全社費用(注)	138,448
四半期連結損益計算書の営業利益	229,141

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,312,078	456,620	1,768,699	1,464	1,770,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,580	14,580
計	1,312,078	456,620	1,768,699	16,044	1,784,743
セグメント利益又は損失()	227,940	1,222	226,717	8,962	235,680

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	226,717
「その他」の区分の利益	8,962
全社費用(注)	136,862
四半期連結損益計算書の営業利益	98,817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当社グループの所有する有価証券は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	13円38銭	3円76銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	179,621	50,735
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	179,621	50,735
普通株式の期中平均株式数(株)	13,428,609	13,482,342

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

オーベクス株式会社
取締役会 御中

監査法人グラヴィタス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 田 稔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 藤 本 良 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーベクス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーベクス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。